



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4044 URL: <https://www.cgco.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 一彦  
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 橋本 秀和 TEL: 03-3259-7062  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 有  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	34,830	△10.7	2,940	3.3	4,190	9.2	3,012	6.4
2024年3月期第1四半期	39,010	4.5	2,845	△21.7	3,837	△32.3	2,831	△54.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,346百万円 (2.4%) 2024年3月期第1四半期 4,244百万円 (△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	121.57	-
2024年3月期第1四半期	114.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	213,047	121,655	54.6
2024年3月期	214,404	120,050	53.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 116,426百万円 2024年3月期 114,916百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	57.50	-	101.50	159.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	85.00	-	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	72,000	△9.0	4,000	△33.5	4,500	△28.6	3,500	△38.3	141.24
通期	156,000	△2.7	11,000	△24.3	12,500	△23.2	10,000	△19.9	403.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	26,000,000株	2024年3月期	26,000,000株
2025年3月期1Q	1,219,584株	2024年3月期	1,219,794株
2025年3月期1Q	24,780,219株	2024年3月期1Q	24,780,225株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員及び従業員向け株式交付信託口が保有する自己株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当四半期の研究開発活動の概況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安等の影響による消費者物価の高止まりにより個人消費には足踏みがみられるものの、堅調な企業業績を背景とした設備投資の増加、インバウンド消費の拡大等により緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、欧州はインフレの鈍化から景気の底入れが見込まれるものの、米国は金融引き締め継続により景気は緩やかに減速、中国では不動産不況の長期化や海外からの直接投資の減少により景気は停滞が見られ、加えて紛争継続、米中を中心としたデカップリングの進展等、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は34,830百万円と、前年同期比10.7%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比352百万円増加の4,190百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比181百万円増加の3,012百万円となりました。

### セグメント別の概況

#### (化成品事業)

素材化学品につきましては、ハイドロフルオロオレフィン製品である発泡剤原料の需要が回復基調にあることに加え、農薬関連製品の出荷も堅調に推移しましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

医療化学品につきましては、医薬関連製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料につきましては、AIの普及を背景に半導体の需要が回復しており、半導体向け特殊ガス製品、レジスト材料ともに販売が増加したため、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

エネルギー材料につきましては、EV市場の需要低迷により、リチウムイオン電池用電解液製品の販売が減少したため、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

肥料につきましては、顧客在庫の調整が進んだことから、販売量は増加となったものの、販売価格の低下により、売上高は前年同期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は20,972百万円（前年同期比16.5%減）となり、損益につきましては2,243百万円の営業利益（前年同期比275百万円の減少）となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	25,104	20,972	△4,132	△16.5%
営業利益	2,518	2,243	△275	△10.9%

### 事業別売上高

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
素材化学品	3,701	4,260	558	15.1%
医療化学品	4,233	4,033	△199	△4.7%
電子材料	4,127	5,679	1,551	37.6%
エネルギー材料	9,766	4,005	△5,760	△59.0%
肥料	2,155	1,914	△241	△11.2%
その他	1,120	1,079	△41	△3.7%
計	25,104	20,972	△4,132	△16.5%

## （ガラス事業）

建築用ガラスにつきましては、建築需要が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、顧客の一部稼働停止の影響があったものの、原燃材料価格の高騰に対する製品価格改定を継続して実施してきたことから、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野では顧客の一部稼働停止の影響などから出荷減少、電材分野も需要が低調に推移したことから、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は13,858百万円（前年同期比0.3%減）となり、損益につきましては697百万円の営業利益（前年同期比370百万円の増加）となりました。

（単位：百万円）

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	13,905	13,858	△47	△0.3%
営業利益	326	697	370	113.4%

## 事業別売上高

（単位：百万円）

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
建築用ガラス	5,523	5,027	△496	△9.0%
自動車用ガラス	6,315	6,800	484	7.7%
ガラス繊維	2,066	2,030	△36	△1.8%
その他	0	0	△0	△9.2%
計	13,905	13,858	△47	△0.3%

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が2,506百万円増加する一方、受取手形、売掛金及び契約資産が3,586百万円減少したことなどにより、1,357百万円減少し213,047百万円となりました。

負債は借入金が1,886百万円減少したことなどにより、2,962百万円減少し91,391百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定が714百万円増加したことなどにより、1,605百万円増加し121,655百万円となりました。また、自己資本比率は1.0%増加し54.6%となりました。

（3）当四半期の研究開発活動の概況

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1,727百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（単位：百万円）

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	増減率
研究開発費	1,477	1,727	249	16.9%

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く事業環境につきましては、電子材料は半導体需要回復から特殊ガス製品、レジスト材料ともに販売が好調に推移することが見込まれるものの、EV市場の需要低迷によるリチウムイオン電池用電解液製品の販売の低迷、医療関連製品の販売が低調に推移することが見込まれることから、当第1四半期連結累計期間の実績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績予想を見直しました。

その結果、売上高はリチウムイオン電池用電解液や医療用関連製品の需要の更なる低迷等から下振れが見込まれるものの、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は年初計画に沿った水準であり、期初の予想から適時開示に該当する大幅な乖離がないため、2024年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。

この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,000	23,507
受取手形、売掛金及び契約資産	42,655	39,068
商品及び製品	28,768	29,055
仕掛品	2,553	2,551
原材料及び貯蔵品	17,754	17,354
その他	3,179	2,902
貸倒引当金	△116	△171
流動資産合計	115,795	114,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,335	18,323
機械装置及び運搬具（純額）	19,131	18,582
土地	20,483	20,486
建設仮勘定	2,033	1,798
その他（純額）	4,222	4,264
有形固定資産合計	64,206	63,455
無形固定資産		
その他	835	820
無形固定資産合計	835	820
投資その他の資産		
投資有価証券	22,345	23,309
その他	11,335	11,319
貸倒引当金	△113	△127
投資その他の資産合計	33,567	34,502
固定資産合計	98,609	98,777
資産合計	214,404	213,047

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,903	14,706
短期借入金	11,285	11,302
未払法人税等	1,973	1,263
契約負債	967	868
賞与引当金	1,246	416
事業構造改善引当金	105	105
その他	13,522	14,685
流動負債合計	45,004	43,347
固定負債		
社債	23,000	23,000
長期借入金	18,720	16,816
特別修繕引当金	2,058	2,163
役員株式交付引当金	32	45
従業員株式交付引当金	192	237
退職給付に係る負債	5,145	5,202
その他	200	578
固定負債合計	49,349	48,044
負債合計	94,353	91,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	80,443	80,892
自己株式	△3,829	△3,829
株主資本合計	102,891	103,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,680	6,028
繰延ヘッジ損益	21	49
為替換算調整勘定	5,543	6,258
退職給付に係る調整累計額	778	747
その他の包括利益累計額合計	12,024	13,085
非支配株主持分	5,134	5,229
純資産合計	120,050	121,655
負債純資産合計	214,404	213,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	39,010	34,830
売上原価	29,428	24,751
売上総利益	9,582	10,079
販売費及び一般管理費	6,736	7,138
営業利益	2,845	2,940
営業外収益		
受取利息	29	32
受取配当金	259	271
持分法による投資利益	257	108
為替差益	431	848
その他	506	360
営業外収益合計	1,484	1,621
営業外費用		
支払利息	91	79
休止固定資産費用	23	101
その他	378	190
営業外費用合計	493	371
経常利益	3,837	4,190
税金等調整前四半期純利益	3,837	4,190
法人税等	789	1,053
四半期純利益	3,048	3,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	217	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,831	3,012

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	3,048	3,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	520	348
繰延ヘッジ損益	△127	28
為替換算調整勘定	660	505
退職給付に係る調整額	△21	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	164	358
その他の包括利益合計	1,196	1,210
四半期包括利益	4,244	4,346
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,007	4,073
非支配株主に係る四半期包括利益	237	273

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品事業	ガラス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,104	13,905	39,010	—	39,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	292	0	292	△292	—
計	25,397	13,905	39,303	△292	39,010
セグメント利益（営業利益）	2,518	326	2,845	—	2,845

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

## 2. 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品事業	ガラス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,972	13,858	34,830	—	34,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	344	13	357	△357	—
計	21,316	13,871	35,188	△357	34,830
セグメント利益（営業利益）	2,243	697	2,940	—	2,940

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	2,241百万円	2,199百万円